

わが片足 墓穴にありて BWV156

1 シンフォニー

2 わが片足 墓穴にありて

t-わが片足 墓穴にありて

病めるからだをまもなく沈めん

s-神よわたしをいつくしみ

t-まもなく病めるからだを墓穴に沈めん

s-苦しみから救い

t-わが片足 墓穴にありて

まもなく病めるからだを墓穴に沈めん

t-来ませ わが神 み心ならば

s-願いを聞きたまえ。

t-来ませ 愛する神み心ならば

s-わが霊がからだを去る時

t-わが家に定めているのです。

来ませ 愛する神よ

s-主よ御手に受け入れたまえ

t-来ませ あいする神 み心ならば

わたしの終わりをさいわいものとなしてください。

s-終わりよければすべてはよい。

t-終わりよければすべてはよい。

3 わが悩みと苦痛

わが悩みと苦痛 命も死をも

神の手のなかにあり。

またあなたはまなざしを注ぎ、

わが罪のゆえに病み伏す時

わが神に願う。

あなたの義にまさりて

愛の手をかざしてください。

だが病苦は私を苦しめる。

わが心定まれり。

み心がわが上になされるように

手綱を引き締めたまえ。

4 主のみ心こそ

主のみ心こそ 望みなれ

望みこそ 導きなれ よき道なれば

主のみ心こそ わが望み。

喜びの日も 苦しみの時も

死の時にも

み心のなるように祈らせたまえ。

主のみ心こそ わが望み

よきめあてなれ

主のみ心なればよき道

主のめあてなれば。

5 わたしが病むことを

わたしが病むことを望まれないのなら

心より感謝ささげ、

常に心と体が守られますように。

健やかに霊とみ言葉の養いあれば

肉と魂の弱さはわが受ける分です。

6 生きるも死ぬるも

生くるも死ぬるも 主よみ心なしたまえ。

ねがい一つ、 わたしをほろぼさないで。

かえりみのなかでだけ自分を保てます。

み心こそよいものです。

初演 1729年1月23日 顕現3

聖書 マタイ 8;1-13 ローマ12;17-21

「主よ、 みこころでしたきよめていただけるのです

が」 (マタイ 8;1-13 らい病人の癒し) をテーマに

はじまった6曲の音楽は、最後に短いみじかい会衆讃

美歌・コラールでおわる。